

6-11 近畿地方の地殻変動

Crustal Movements in the Kinki District

国土地理院

Geographical Survey Institute

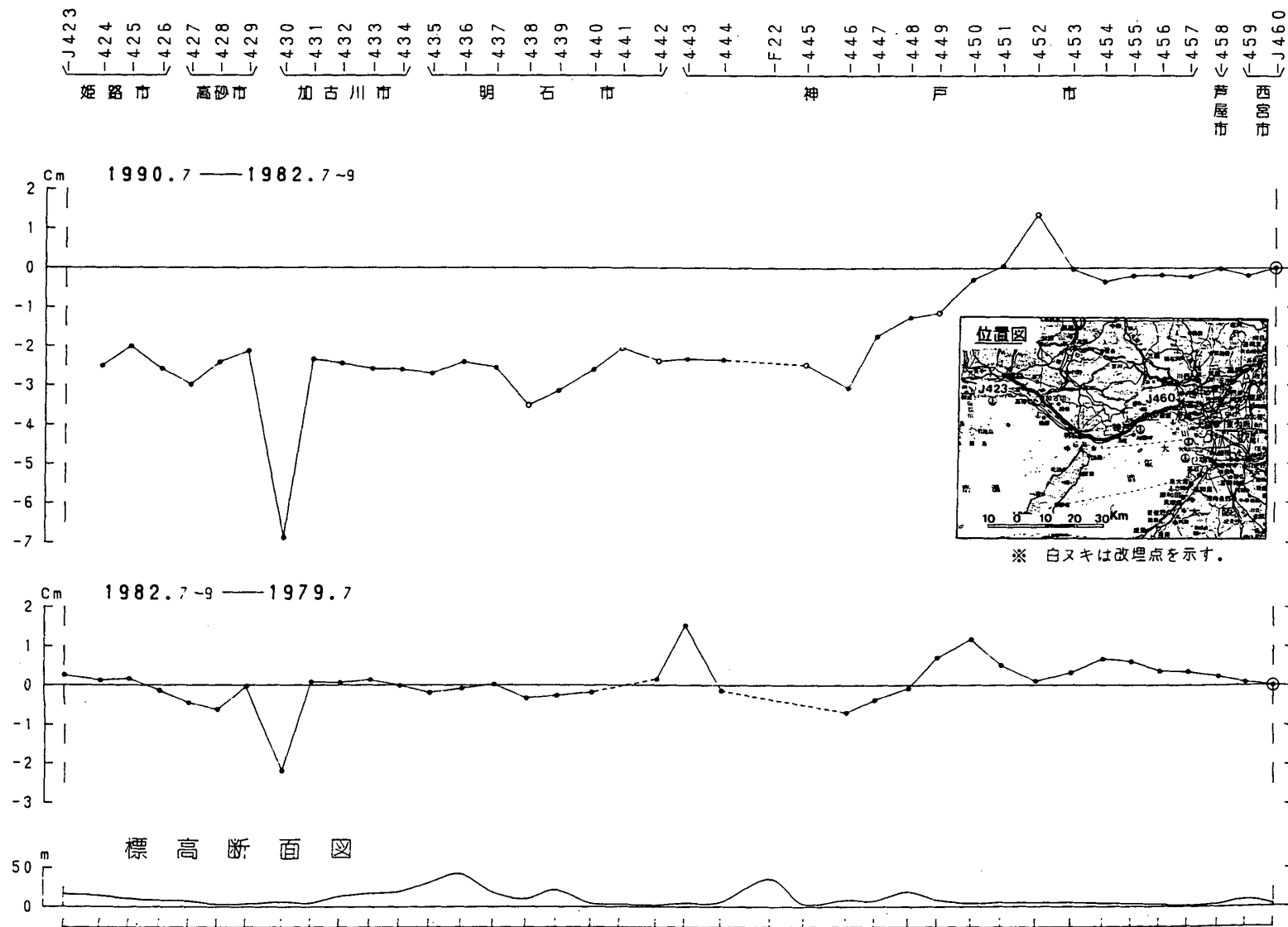
第1図は姫路～西宮間の水準測量の結果を示したものである。神戸から明石、姫路方向に沈降しているように見える。第2図は、神戸・宇野験潮場の月平均潮位及び験潮場間の潮位差である。特に変化は見られない。

第3図は大阪～大垣間の水準測量の結果を示したものである。特に、大きな変動はない。

第4図～第7図は紀伊半島における水準測量の結果である。第5図から紀伊半島先端で沈降が続いているようである。また、第7図より、多気町に対して津市の側が引き続き隆起の傾向にある。これらの結果及び既に地震予知連絡会会報第42、43巻で報告された紀伊半島の水準測量の結果を用い、第6図の右側のような環状の水準路線について網平均して紀伊半島先端部の各水準点の経年変化を示したのが第8図である。1944年の東南海地震、1946年の南海地震後しばらく隆起が続いてから沈降の傾向に転じていることがうかがえる。なお、第8図で、1947年と1966～1968年の測量間の直線で結ばれた各水準点の経年変化は、この期間、長期にわたり測量が行われていないため、実際の変動を必ずしも示していないと考えられる。第9図、第10図は、紀伊半島部の各験潮場間の月平均潮位差である。特に変化は見られない。

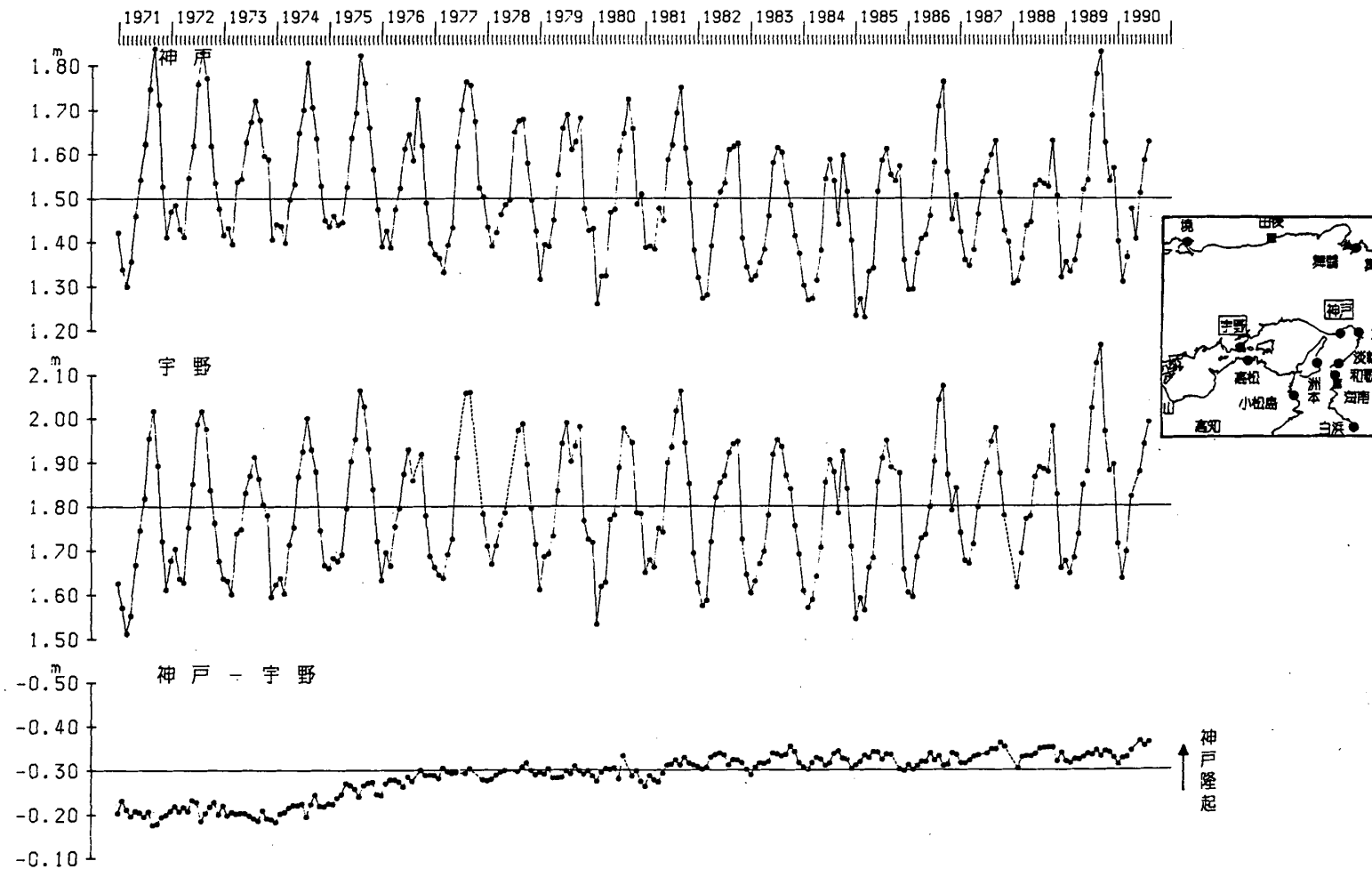
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：紀伊半島の上下変動，連絡会報，8（1972），83-85.
- 2) 国土地理院：紀伊半島の上下変動，連絡会報，24（1980），195-200.
- 3) 国土地理院：近畿地方の上下変動，連絡会報，31（1984），424-437.
- 4) 国土地理院：近畿地方の上下変動，連絡会報，42（1989）333-339.
- 5) 国土地理院：近畿・中部地方の地殻変動，連絡会報，43（1990），468-472.



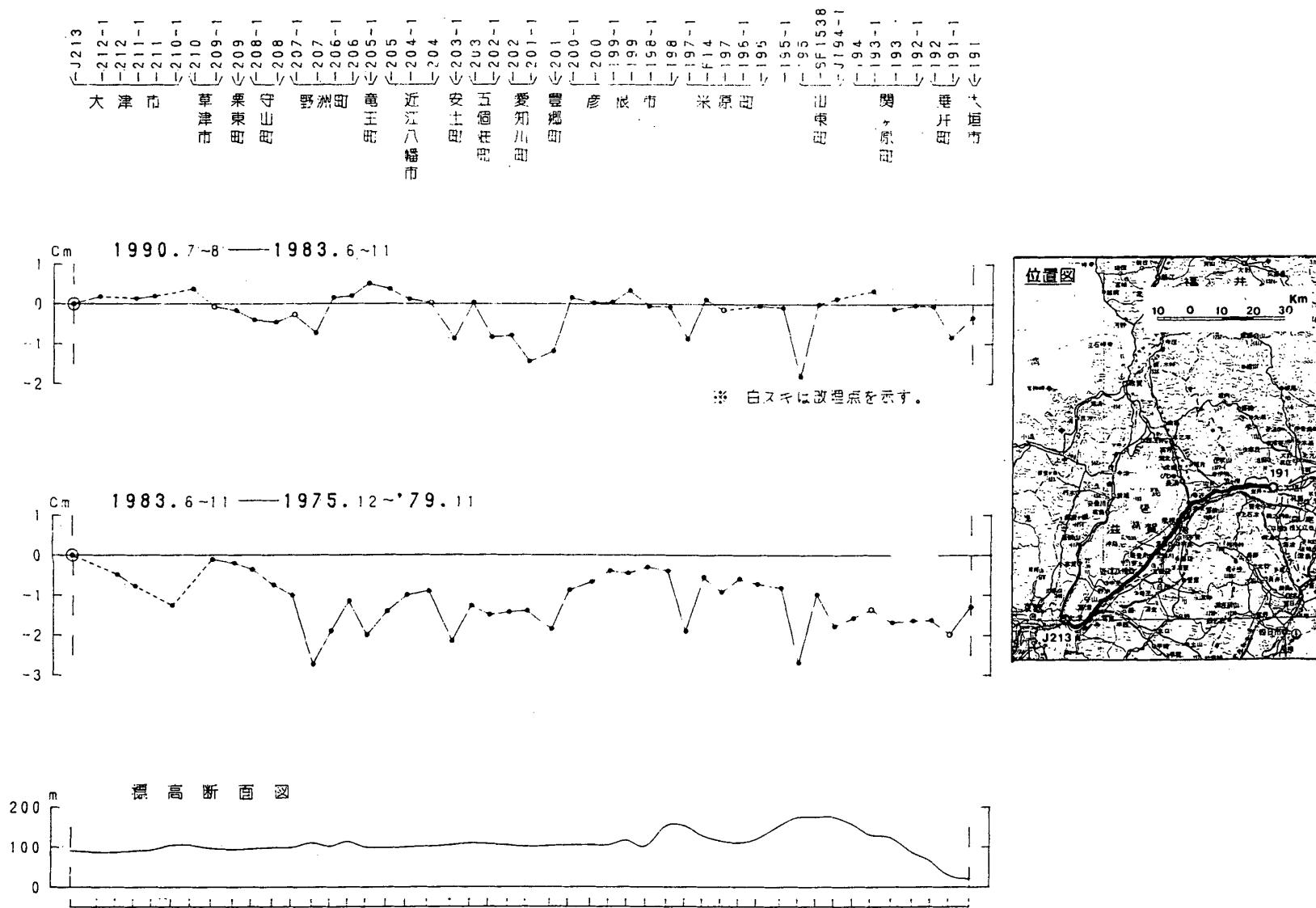
第1図 姫路～西宮間の上下変動

Fig. 1 Level changes along the route from Himeji to Nishinomiya.



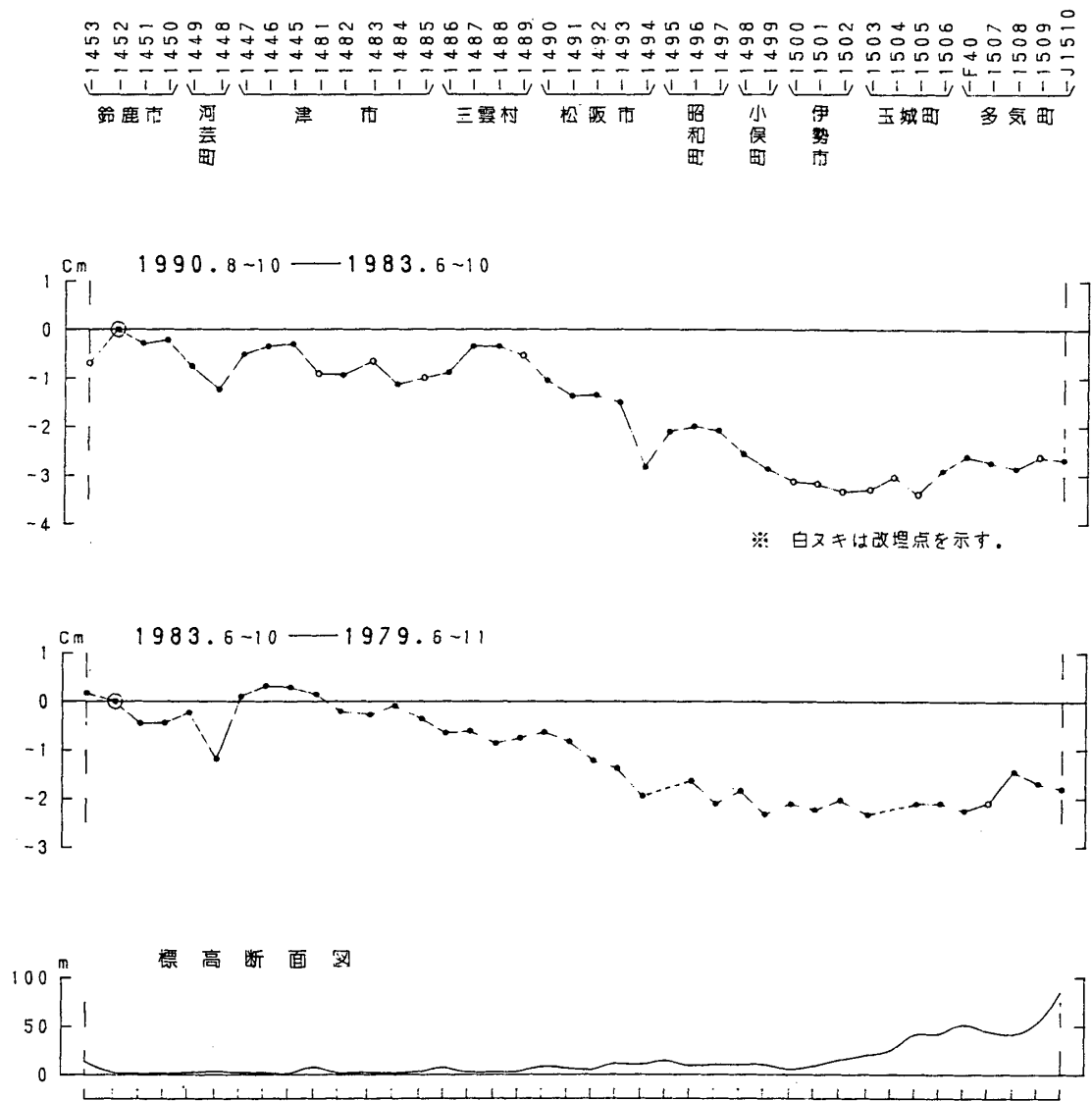
第2図 神戸・宇野験潮場の月平均潮位及び潮位差

Fig. 2 Monthly mean sea levels at the Koube and the Uno tide stations, and differences in the monthly mean sea levels between them.



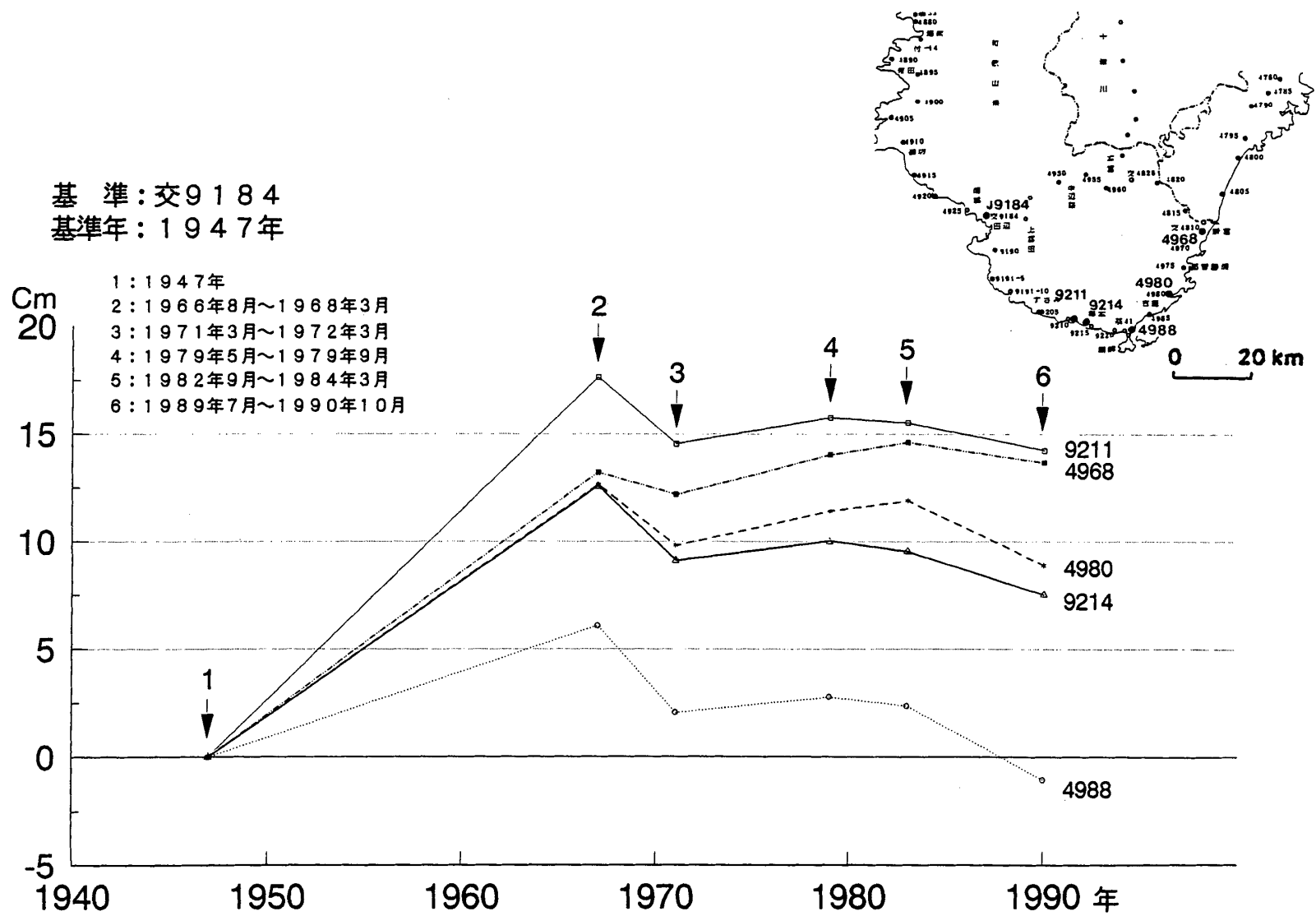
第3図 大津～大垣間の上下変動

Fig. 3 Level changes along the route from Ootsu to Oogaki.



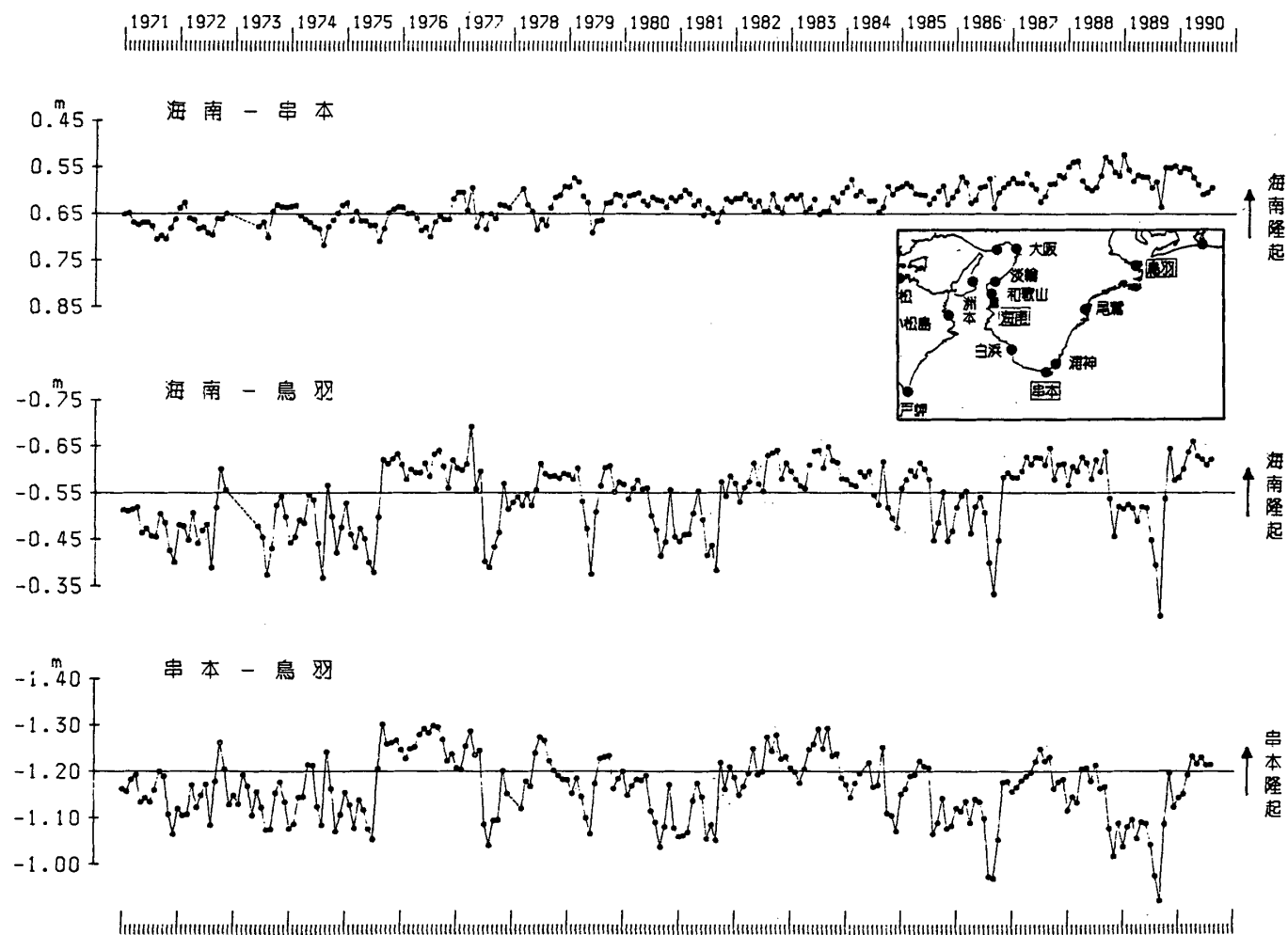
第7図 鈴鹿～多気間の上下変動

Fig. 7 Level changes along the route from Suzuka to Take.



第8図 紀伊半島先端部の各水準点の経年変化

Fig. 8 Height changes of bench marks in the tip area of Kii Peninsula relative to B.M. J9184.



第10図 紀伊半島各験潮場間の月平均潮位差 (2)

Fig. 10 Differences in monthly mean sea levels of tide station pairs in the Kii Peninsula (2).